

# ハッピー&スマイル

40号

発行者  
社会福祉法人楽寿会  
特別養護老人ホーム楽寿荘  
四倉町上仁井田字横川167  
TEL (0246)32-6381



## 平成最後の桜

四月初め、「まだかな、まだかな」と待っていた桜の花がようやく咲きました。今年はずいぶん早く咲いてしまいましたが、外でのお花見は出来ませんが、室内で、美味しいお花見弁当と、おやつには桜餅をいただきました。お弁当を食べる前には、『はなさか爺さん』が登場。室内にも、笑いの花を咲かせてくれました。



「皆さんで仲良くお弁当！」

「お花弁当のメニューはお赤飯、カレーのみぞれあんかけ、かぼちゃの煮付け、うどんのごま和え、白桃かん、豚汁でした」

↓流動食のお弁当も彩りがきれいです



「はなさか爺さんと記念撮影」

## 時代の幕開け

平成が終わり、五月からはいよいよ新元号『令和』の始まりです。『令和』は、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」と言う願いが込められているそうです。



「北棟の利用者さんの作品です」



「桜並木のちぎり絵と共に...」



楽寿荘には、『大正』や『昭和』の激動の時代を過ごしてきた方々が、たくさんいらっしゃいます。そんな利用者の方々の心に寄り添い、職員一丸となって志を寄せ合いながら、『令和』という時代が皆さまにとってより良いものになるよう、努めてまいります。

## 祝 百歳バンザイ!

三月十二日(火)、古川チヨ子さんが、今年度三人目となる百歳のお誕生日を迎えました。福島県いわき市の職員、福祉協議会、古川さんのご家族、それに利用者の方々が集まり、祝いの声をおこしました。たくさんの方の前で、少し緊張した面持ちでしたが、金色のちゃんちゃんこを着た古川さんは、背筋をしゃんと伸ばし、百歳の風格が感じられました。お祝いのあとは、厨房の職員が腕をふるった昼食を、家族水入らずで楽しみました。いつも元気な古川さん。時々、職員に笑いかけてくださいます。そのほほ笑みがいつまでもつづきますように。これからも長生きしてください。



「賞状や杯など記念品贈呈がありました」

「古川チヨ子さん、100歳おめでとうございました！」

「北棟では、利用者さん達が力を合わせて桜並木のちぎり絵を作りました」

## 新しい風

今年、七名の新人職員が加わりました。楽寿荘に新しい風を吹き込んでくれることと思います。ご家族の皆様どうぞよろしくお祈りいたします。

北棟配属 小峰由佳さん

「一日でも早く慣れるよう頑張りたいです。」

東棟配属 伊藤美香さん

「運動が大好きで体力には自信があります。利用者さんに頼られる介護職員になりたいです。よろしくお祈りいたします。」

西棟配属 米山拓海さん

「常に笑顔で接することを心がけています。」

中棟配属 木村ちはるさん

「早く仕事を覚えて、皆さんを毎日笑顔にできるように頑張ります！」

厨房配属 佐藤祐美子さん

「二月より厨房に入りました。元気に楽しく、そしてしっかりと仕事をしていきたいと思っています。よろしくお祈りいたします。」

デイサービス配属 箱崎有里さん

「半年が経ちだいぶ仕事に慣れてきた頃なので、気を緩めず、頑張りたいです。」

デイサービス配属 新妻克彦さん

「以前楽寿荘で働いたことがあります。またよろしくお祈りいたします。」

## 施設長より

特別養護老人ホーム 楽寿荘  
施設長 佐藤英介

昭和五十六年四月オープン。楽寿荘も平成をこえてオリピックの年には四十周年を迎えることとなります。

この間利用者・ご家族・地域・関係者の皆様に支えられ信頼され、愛される施設として堅実に歩んで参りました。

築後五十年を目途に建替の時期が視野に入ってきました。立地環境の良い通い慣れた。現在地での建替えについては防災上の観点をふまえて種々検討すべき事項があります。

職員総意、関係者・地域の皆様のお知恵を拝借して10年後にふさわしいコンセプトをもった施設にしたいと考えております。

楽寿会ホームページはこちら



<http://www.rakujikai.co>



「利用者さんのおやつで出た、平成饅頭です。令和も宜しくお願いいたします。」

